

信州大学知の森基金 平成 30 年度事業報告

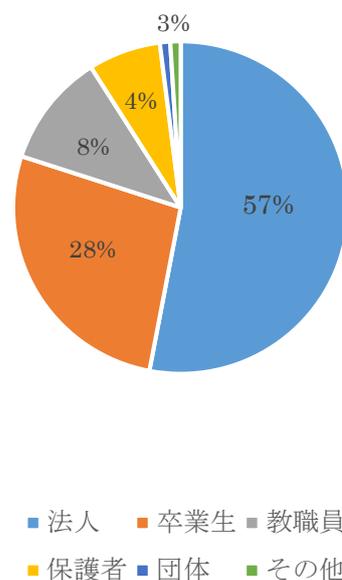
1. 寄附受入状況

寄附受入総額：18,447,900 円

内独立会計（指定事業※）分を除く受入総額：16,663,200 円

		銀行振込	クレジットカード	古本募金	合計	
法人	件数	97	0	0	97	
	金額	10,530,000	0	0	10,530,000	
団体	件数	0	0	19	19	
	金額	0	0	40,043	40,043	
個人	卒業生	件数	159	57	55	271
		金額	4,296,000	816,000	129,577	5,241,577
	教職員	件数	9	67	4	80
		金額	877,000	497,700	57,705	1,432,405
	保護者	件数	42	5	20	67
		金額	574,000	80,000	39,639	693,639
	その他	件数	7	15	8	30
		金額	276,000	213,000	21,236	510,236
	個人計	件数	217	144	87	448
		金額	6,023,000	1,606,700	248,157	7,877,857
合計	件数	314	144	106	564	
	金額	16,258,000	1,591,700	288,200	18,447,900	

属性別寄附金の割合



内独立会計（指定事業※）分：1,784,700 円

項目	件数	金額
博士人材育成支援事業	14	1,454,700
附属学校園支援事業	5	330,000
合計	19	1,784,700

※指定事業

知の森基金の支援事業の新たな枠組みとして、平成 30 年度に新設。指定事業の募金活動及び寄附金の管理は、担当部局の責任において、知の森基金の他の寄附金と独立して行う。

寄附受入総額 18,447,900 円と対前年度比で 6,158,834 円の受入額増加（独立会計分を除く受入総額は 16,663,200 円、対前年度比 4,374,134 円の受入額増加）となった。

右上のグラフの通り、法人による寄附が全体の約 5 割強を占めている。平成 29 年度より知の森基金専任のファンドレイザーを雇用し、地域の企業への訪問を継続していること及び平成 30 年度に指定事業を新設したことの効果が現れ、法人からの寄附金額は増加（対前年度比 4,000,000 円増）。今後もファンドレイザーとの連携を強化し、法人からの寄附金受入の増強を図りたい。

また、個人からの寄附金も前年度比で 2,179,606 円の受入額増加。同窓会を通じ卒業生に対してアプローチを行った結果、卒業生からの寄附金が対前年度比 1,974,576 円と大幅に増加したことから受入額増額となったもの。今後も各学部の同窓会とも連携し、卒業生からの寄附金の安定確保を図っていきたい。

2. 学生支援実施状況

2.1. 奨学金事業

①入学サポート奨学金

大学進学を希望しながら経済的理由により進学を断念せざるを得ない高校生に対して、入学時に必要となる学資の一部を支援します。

平成 30 年度実績 18 名 計 7,200,000 円

②大学院奨学金

信州大学の修士課程に在籍し、継続して博士課程への進学を希望する優秀な学生に対して、授業料等の一部を支援します。

平成 30 年度実績 7 名 計 2,100,000 円

2.2. グローバル人材育成支援

①短期海外活動支援（3ヶ月以内）

国際社会への視野を広げるモチベーションづくりとして、各学部、国際交流センター等で企画されるプログラム等に対して往復渡航費用の一部を支援する等の経済的支援を行います。

平成 30 年度実績 123 名 計 7,910,000 円

②長期海外活動支援（3ヶ月超）

交換留学や私費留学など長期間海外に渡航し、グローバル人材になるための知識・スキルの獲得を目指す学生に対して、奨学金を支給します。

平成 30 年度実績 12 名 計 3,450,000 円

③外国人留学生支援

私費で信州大学への留学を希望する意欲的で優秀な質の高い外国人学生に対して、奨学金を支給します。

平成 30 年度実績 20 名 計 7,680,000 円

④グローバル人材育成特別奨学金

優秀な質の高い国費外国人留学生のうち、奨学金支給期間延長に申請できなかった者に対して信州大学の大学院での学びをサポートする目的で奨学金を支給します。

平成 30 年度実績 2 名 計 2,400,000 円